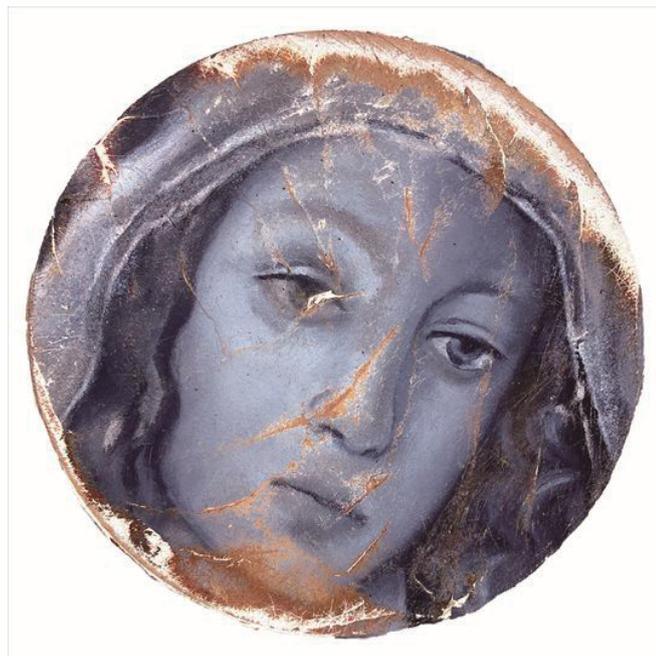


KUNST ARZT では、3年振り、2度目となる中橋多恵子の個展を開催します。中橋多恵子は、クリスチャンとして、宗教との関わりを油彩やモビールを用いて考察するアーティストです。キリスト教のイコンを油彩描写し、それをサンドペーパーで傷つけ・・・、信じることと疑うこと、といったアンビバレントな感情が混在し、時には、燭や真鍮製のモビールを加え、儀式的なインスタレーションを展開しています。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



#### 経歴

1991 名古屋生まれ 石川県育ち 木津川市在住  
2013 京都造形芸術大学油画卒業  
2015 京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻修了

#### 個展

2015 「みじかい時間」 THE TERMINAL KYOTO/京都  
2018 「Taeko Nakahashi solo exhibition」 THE TERMINAL KYOTO  
2019 「MINI EXHIBITION」春巻きスタンドラップ&ロール/京都  
2020 「二世のいいわけ」maruroom (一般社団法人はなまる) /奈良  
2021 「HANABI」作家私用の倉庫 / 奈良・京都  
2022 「ぼくを読んで」 KUNST ARZT/京都

#### 『ザクロの聖母』

(Madonna of the Pomegranate / 1487年頃)  
サンドロ・ボッティチェッリ  
2025  
油彩 板 サンドペーパー  
直径 14.5 cm

#### グループ展

2015 「混沌から踊り出る星たち2015」 SPIRAL GARDEN(SPIRAL 1F) /東京  
2016 「Under 29 Artists Exhibition 2016 U・29」 Gallery MoMo Ryogoku/東京  
2017 「アートハウスおやべ現代造形展2016」アートハウスおやべ/富山  
2019 「東京インディペンデント2019」東京藝術大学 陳列館/東京  
2020 四谷未確認スタジオロッカーアパートメントギャラリー/東京  
2020 「学園前アートフェスタ 2020 選考会 pre festa」 / 浅沼記念館 / 奈良  
2022 「学園前アートフェスタ 2022」学園前エリア / 浅沼記念館 / 奈良

2026年3月31日(火) から 4月5日(日)

12:00-18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

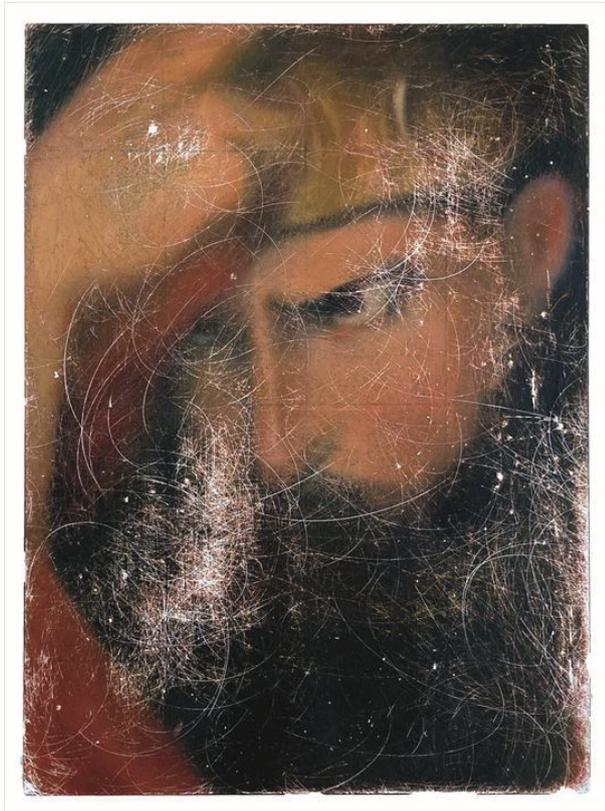
### 展覧会コンセプト

時間が経つと次第に薄れていく事実が  
体のどこかで残り続け、  
決して消えることのない存在として残っている

それが日常で繰り返されている

無関心のように時に疑問を投げかけたくなる宗教や信仰の存在について

特別な日常の肌触りを感じながら  
熱狂的な崇拜でも、完全な拒絶でもなく、ただ「そこにある」という事実  
を留めていく



ダビデとサウル  
2025  
245mm x 335mm  
2025 油彩 板 サンドペーパー  
フレデリック・レイトン / Frederic Leighton  
「David and Saul (1863)」 部分



祖母のアクセサリー  
2025  
鉛筆 ケント紙  
390x290cm



クリスマスツリー (部分)  
2025  
鉛筆 ケント紙  
400x400mm